

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 63》2018年5月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【由布市／国東市】



(由布市)
狭霧台



(由布市)
庄内神楽



(国東市)
文殊仙寺



(国東市)
弥生のムラ

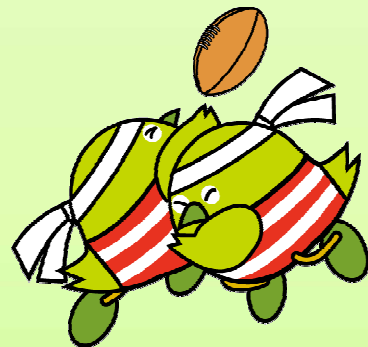
香港でラグビーワールドカップ開催の3県合同PRを行いました

ラグビーワールドカップ2019™日本大会に向けて、九州開催都市(福岡県・市、熊本県・市、大分県)3県が合同し、大会期間中に九州を周遊してもらうため、九州の魅力国内外に発信しています。

今回、3県合同で初めて海外PRを香港で行いました。4月3日～9日にかけて香港スタジアムで行われた香港セブンズ等でブースを出展しました。セブンズは、7人で行われ試合時間が短いことが特徴で、なかでも香港セブンズは世界的にも大変人気のある大会です。4万人収容のスタジアムは試合が行われた4月6日～8日の3日間はほぼ満員の状態で大変にぎわっていました。

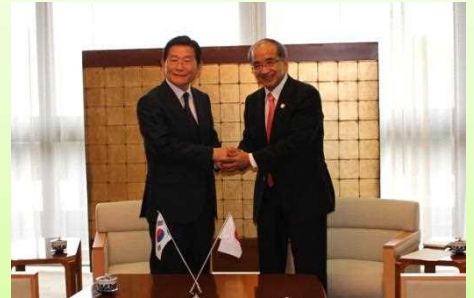
ブースでは、海外のラグビーファンに対して、九州で行われる試合日程やスタジアムへのアクセス方法、観光情報等を発信しました。九州で試合を行うニュージーランドやウェールズの方は、開催都市に対する関心も高く、熱心に説明を聞いてくれました。特に、海外から九州に来ている国際交流員の話は海外のラグビーファンにとって興味深かったようです。一方、試合がない国の方に対して、どのようにして興味を持ってもらうかが、課題として残りました。

大会の1年前に当たる9月19日からチケットの一般発売が世界同時で開始されるので、これからも沢山の方に九州(大分県)の魅力を発信していきたいです。



在福岡韓国総領事が知事を表敬しました

4月5日に、孫 鍾植(ソン ジョンシク)駐福岡韓国総領事が着任のあいさつのため来県し、知事を表敬訪問しました。広瀬知事からは世界温泉地サミットに韓国から関係者が参加することや、ラグビーワールドカップの試合会場になっていることを紹介し、韓国からより一層多くの観光客に来て頂きたいとあいさつがありました。孫総領事は、九州と韓国の交流には古い歴史があり、大分は温泉が有名で食べ物おいしいところだとし、今後より一層交流を深めていくことを確認しました。



在大阪・神戸オランダ総領事が知事を表敬しました

4月18日に、在大阪・神戸オランダ総領事のヘラルド・ミヘルス氏が知事を表敬訪問しました。広瀬知事とミヘルス総領事は、デ・リーフデ号の到着から始まり、大分とオランダは古くから交流があり相互に恩恵を受けてきたが、今後もより関係を発展させていきたいとし、大分県の課題やその対策、また農業振興等について意見を交わしました。ミヘルス総領事夫妻は翌19日に白杵市で開催された「デ・リーフデ『奇跡の来航』記念追悼献花式典」に参加されました。



内閣府青年国際交流事業「地域コアリーダープログラム」

～3カ国の外国青年と大分県の青年が高齢者福祉施策について交流～

平成30年2月20日(火)から25日(日)の日程でドイツ、ニュージーランド、オーストリアの3カ国から13名の青年を招へいし、高齢者福祉施設の見学や施策についての意見交流及びホームステイを行いました。本県での内閣府青年国際交流事業の開催は平成27年度から3年連続です。



まず初日の20日(火)には外国青年が大分県庁を訪問し、県の高齢者福祉施策についての研修や副知事表敬訪問を行いました。参加青年からは大分県の高齢者福祉政策に対しての積極的な質問が相次ぎ、予定時間を超過する程の盛り上がりがありました。

21日(水)からは別府市保健センターや別府大学食物栄養科、青山医療福祉協会などを訪れ、介護予防施策や食と健康の関わりなどを体験的に学習できるプログラムを実施しました。参加青年は別府市北浜温泉テルマスでの温泉を活用した湯中運動にも参加し、他の一般参加者と交流を深める様子はテレビ局の取材を受け大分県下に放映されました。

また、23日(金)には、ホルトホール大分において地方セミナーを開催し、各国及び大分県の高齢者福祉施策について青年からそれぞれ実践報告を行うとともに、分科会を開催し各国の現状等について大分県の青年と意見交換を行いました。プログラムの参加者からは、「介護分野での人材不足は日本だけではないことがわかった」「海外の介護分野の取組について先進事例を知ることができた」「参考になる情報を得られたので職場に持ち帰ってみんなに広めたい」等の声が寄せられ、大変充実した内容でした。



【私学振興・青少年課】

世界温泉地サミット開催迫る！！

世界各国の温泉地のリーダーや研究者等が一堂に会し、温泉の活用による地域発展の可能性について議論する、「世界温泉地サミット」を5月25日(金)～27日(日)に別府市のビーコンプラザで開催します。

サミットを通じ、日本の温泉文化、ひいてはおんせん県おおいたの魅力が世界に発信されることが期待されます。

なお、5月26日は皆様も聴講可能です。事前申込が必要ですので、世界温泉地サミットのHPからお申し込みください。(締切:5月11日)

<http://www.pref.oita.jp/site/onsen-summit/choukoushaboshuu.html>

《5月25日》

- ◆全国温泉地サミット(環境省主催)
- ◆世界温泉地サミット・全国温泉地サミット 合同レセプション

《5月26日》

- ◆基調講演：国連世界観光機関 ヨランダ・ペルドモ氏(スペイン)

- ◆事例発表

○観光分野

カンパーニュ・ドゥ・ヴィシー社長 ジェローム・フリポ氏(フランス)

○医療・健康・美容分野

ホテル・プレジデント・テルメ社長 マッシモ・サビオン氏(イタリア)

○エネルギー分野

ブルーラグーン・アイスランド開発担当役員 アーサ・ブリンヨルフスドッティル氏(アイスランド)

- ◆分科会

観光、医療・健康・美容、エネルギーの各分野の国内外の代表が議論を交わします。

《5月27日》

- ◆エクスカージョン

4つのコースを用意し、「日本一のおんせん県おおいた」の魅力を体感してもらいます。

☆関連イベント☆

- ・世界温泉地観光物産展(5月26日～27日 ビーコンプラザ コンベンションホール)
サミット参加国や国内参加自治体等の特産品販売や飲食、観光PRブースをはじめ、ステージイベントを予定しています。(どなたでも入場自由)
- ・ONSEN・ガストロミーウォーキング(5月26日/別府市 5月27日/中津市)
温泉地を歩きながら、その土地特有の豊かな自然・歴史・文化を巡り、それらに育まれた食を味わい、終了後は温泉に浸かって、温泉地の魅力を体感するウォーキングイベントを開催します。
事前申込、参加費が必要ですので、詳しくは「ONSEN・ガストロミーウォーキング」で検索。

【観光・地域振興課】

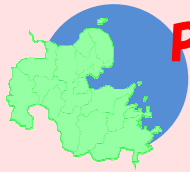


ブラジルから研修生が来県しました

大分県出身のブラジル移住者子弟の高良 サント 淳 ラウレンセさんが、日本語を学ぶため研修生として来県しましたのでご紹介します！



ブラジルから参りました、高良 サント 淳 ラウレンセと申します。22歳です。母国の大学ではホスピタリティ分野で学位を取得しました。現在は大分県の支援を受け別府大学(日本語別科)に所属しています。ブラジル大分県人会を代表して大分に来て、1年間にわたり日本語、日本文化や伝統を学ぶ予定です。大分で学んだことをブラジルに持ち帰り、創立66周年目になる大分県人会をより強固なものにしていければと思っています。この機会を与えて頂き、深く感謝しています。ありがとうございます。



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（4月）

News

【4月5日（木）】大分南高校 SPHに認定

5日、高度な知識・技能を持った専門的職業人の育成を目指して先進的な授業に取り組むスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）に、大分南高校（大分市）福祉科が指定されました。福祉科としては全国3校目で、九州では初の指定です。SPHの指定期間は18～20年度の3カ年であり、期間中に国から補助金計約1450万円の交付を受け、介護機器や介助ロボットなどの教材を購入する予定です。各種研修やセミナー等、県内の高校・大学との連携、介護福祉教育の意義を考えるイベントなどにも取り組むとしており、介護現場を支える人材育成に向けた環境整備が期待されています。



News

【4月11日（水）】耶馬溪町金吉で山崩れが発生

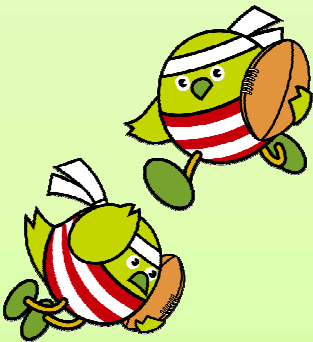
11日午前3時50分ごろ、中津市耶馬溪町金吉で大規模な山崩れが発生しました。幅約200メートル、高さ100メートルにわたって崩落し、住宅4棟が土砂に巻き込まれました。被害に遭った民家のうち1世帯4人は逃げて無事でしたが、3世帯6人と連絡が取れない状態になりました。

現場では夜を徹して必死の捜索が行われましたが、大きな岩や大量の土砂などで難航しました。自衛隊などが重機で岩などを取り除く一方、県警や消防がスコップなどを使い捜索を続け、延べ約5815人を投入しましたが、2次災害の危険もあったため、雨などでたびたび中断しました。安否不明だった6人全員の死亡が確認されたのは23日のことです。

今回の山崩れは雨や地震等がない中発生しており、今後、新たな崩落などを防ぐために対策を講じることとしています。

News

【4月20日（金）】大分市、別府市が公認キャンプ地に内定



20日に、ラグビーワールドカップ日本大会に出場するチームが1次リーグで使用する公認キャンプ地が発表され、大分県では大分市がフィジーおよびウルグアイ、別府市がニュージーランド、オーストラリア、ウェールズ、敗者復活予選の優勝チームキャンプ地に内定しました。大分銀行ドームで1次リーグを戦う全6チームがキャンプで両市に滞在する予定です。

公認キャンプ地は、出場チームが大会期間中、試合に向けて滞在して調整する場であり、チームの拠点となります。世界トップクラスの選手たちが集い、憧れの選手を身近に感じることができる場になります。また選手や海外からの観戦客との交流機会も増えることが期待されます。

中国の国際交流員 方 応梅さんが着任しました

県の国際交流員(中国)が新たに着任しましたのでご紹介します！
方さんには、What's up, OITA!中国語版の編集長としても活躍していただく予定です。

はじめまして。大分県庁に新しく配属された国際交流員の方応梅と申します。中国から参りました。大学を卒業してからずっと大学で日本語の先生をしておりましたので、日本人の姿と本場の日本文化を多くの中国人に伝えたいと思って日本に参りました。また、大分県と湖北省との間の掛け橋になって、日中友好のため、微力ながら力を尽くして頑張ります。



方 応梅(ほう おうばい)さん
中国湖北省から派遣

From our Reporters

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



シェリダン・ミキシック
(Sheridan McKisick)

4月に、初めて豊後大野市に行きました。大分の市町村の中で、豊後大野だけ行ったことがありませんでした。豊後大野市の一番有名な観光地は原尻の滝だと思うのでそこを訪れ、隣の道の駅で4月7日～20日に行われたチューリップフェスタにも行きました。その両方とも、すごくきれいでした。チューリップの色は素晴らしく、花の数も多かったですし、力強い滝はとても印象的でした。フェスタのおかげで、屋台が多く出ており、平日だったのに人も多かったです。また豊後大野に行きたいです！



金 眞雅
(Kim Jina)

去年より2週間も早く咲いた桜がちょうど見頃を迎えた日、白杵に行って来ました。天気も良くお花見日和で、春の気配をしっかりと感じながら歩いていくとあちこち満開した桜が目に入り、わくわくしてきました。

最初に向かった二王座歴史の道は武家屋敷やお寺などが建ち並び風情ある城下町の面影を垣間見ることができます。石畳を歩くだけでも心が落ち着くので、白杵で一番好きなお店もあります。昔ながらの商店街まで歩いて味噌ソースと味噌クランチ、味噌パウダートッピングの味噌ソフトクリームを食べました。甘辛くてくせになる味でした。白杵城趾は桜の名所だけあって咲き誇っている桜がとても美しく、石垣を彩る桜に魅了されました。きれいな写真がたくさん撮れて嬉しかったです！



セーラ・バックレイ
(Sarah Backley)

4月3日から9日の一週間、香港に出張に行ってきました。この出張の目的は、熊本県と福岡県の職員と共にラグビーワールドカップ2019年に向けて、香港ラグビーセブンズ大会での九州のPRでした。香港セブンズは、多くの外国人が来場するイベントであり、多くの中国人も英語が意外と流暢に話せるので、ほとんどのPRや観戦客との会話は英語で出来ました。来年の日本ラグビーW杯に興味を持っている人の中でも、九州で試合を見る予定がある人は非常に少なかったため、この出張で少しでも九州、それから大分の魅力を広げられていたら幸いです。

より個人的な経験としては、大会の最終日に、スタジアムの前で小学校時代からの友達に偶然会いました。15年ぶりの再開で、まだお互いの顔を覚えていたのも不思議ですが、やはり世間は狭いと感じました。

今回は香港を見て回る時間は残念ながらありませんでしたが、香港市内の看板や広告が全てイギリス英語で書かれていて、イギリスのスーパーまでであったので、懐かしい感じがしました。もちろん、ティーバッグなどの必需品も買って帰りました！



～編集後記～

大分県竹田市久住町にあるTAOの里を本拠地に活動している「日本エンターテイメント集団 DRUM TAO」は、国内のみならず海外でも活動の場を広げているところですが、このたびラグビーワールドカップ2019の開催都市特別サポーターに任命されました。また、大分県と宮崎県の2県6市町等で構成されるユネスコエコパークのプロモーションビデオも手がけています。インターネットの動画サイトでも見ることができますので、ぜひ、「DRUM TAO」で検索してみてください。(国際政策課長 徳野 満)

話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！
(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp